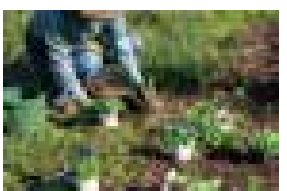


地域のみなさんの声を集めて、整備プランをまとめました。

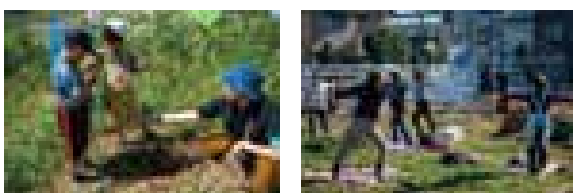
花と原っぱの日 (21回実施)

一緒に花壇のお手入れをしながら、広場に親しんでもらい、広場に関する声を集めました。



広場づくり現地体験DAY (4回実施)

整備プランの展示をしたり、みなさんの声から生まれたイベント企画を実践してみたりして、広場の使い方のイメージを膨らませました。



広場づくりワークショップ (3回実施)

広場の経緯や前提条件を確認し、みんなで意見を出しあいながら、広場の整備方針やみんなで取り組む活動を考えました。



アンケート (1回実施)

地域のみなさんから広く意見を集めました。

北鳥山五丁目広場の使い方に関するアンケート

右側の2次票コードから回答ください。紙での回答も希望の方は、下記にご記入いただき、広場の入り口南側受付所にあるアンケート回収ボックスにご提出ください。 締め切り: 9月16日(月)

1.住所 a. 北鳥山()丁目 b. 北鳥山以外の世田谷区内() c. 世田谷区外()

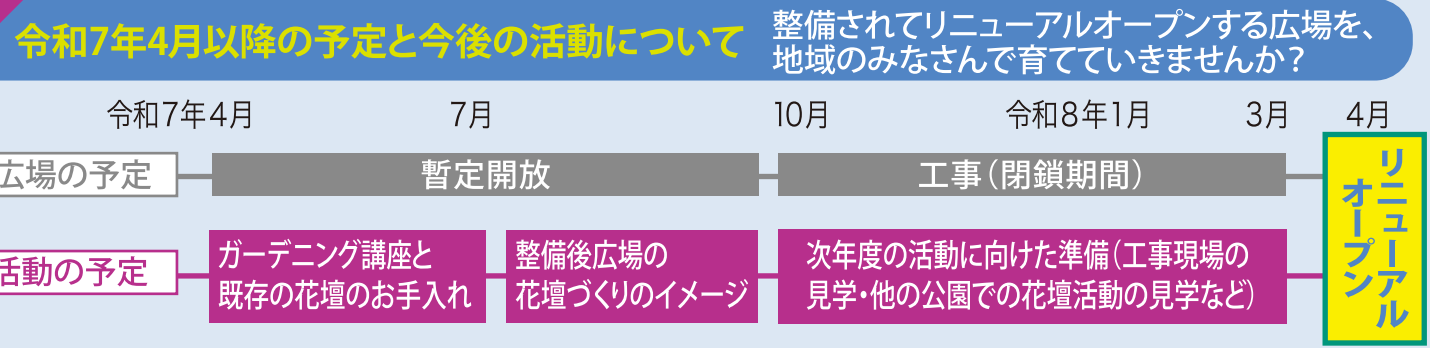
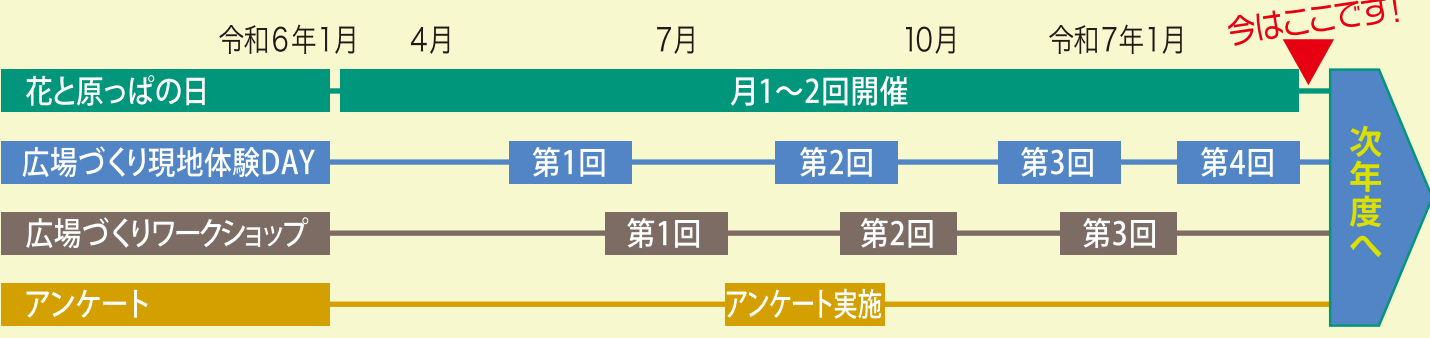
2.年齢 a. 19歳以下 b. 20-39歳 c. 40歳以上

3.広場に行ったことはありますか(どれ) a. 広場に行ったことがない b. 広場の前 c. 広場の中に入ったことがある d. 広場

4.あなたやあなたの家族は広場でどんな a. 座ってくつろいだり、散歩したりする c. みどりや生きものを観察する d. 運動 f. 次の散歩 g. 花壇づくりなどのボランティア h. その他()

どの時間帯に広場を利用したいと思いますか? (複数回答可)

朝(5-9時) 11
日中(9-16時) 14
夕方(16-18時) 14
夜(18-5時) 4



【住民参加の取り組みについて】
一般社団法人ななつのこ 川崎(かわさき)
Eメール: kitakarasuyama@nanatsunoko.com
TEL: 050-1809-8457 (留守電対応の場合あり)

【整備計画について】
世田谷区 みどり33推進担当部
公園緑地課 建設担当 上小牧(かみこまき)
TEL: 03-6432-7910 FAX: 03-6432-7989

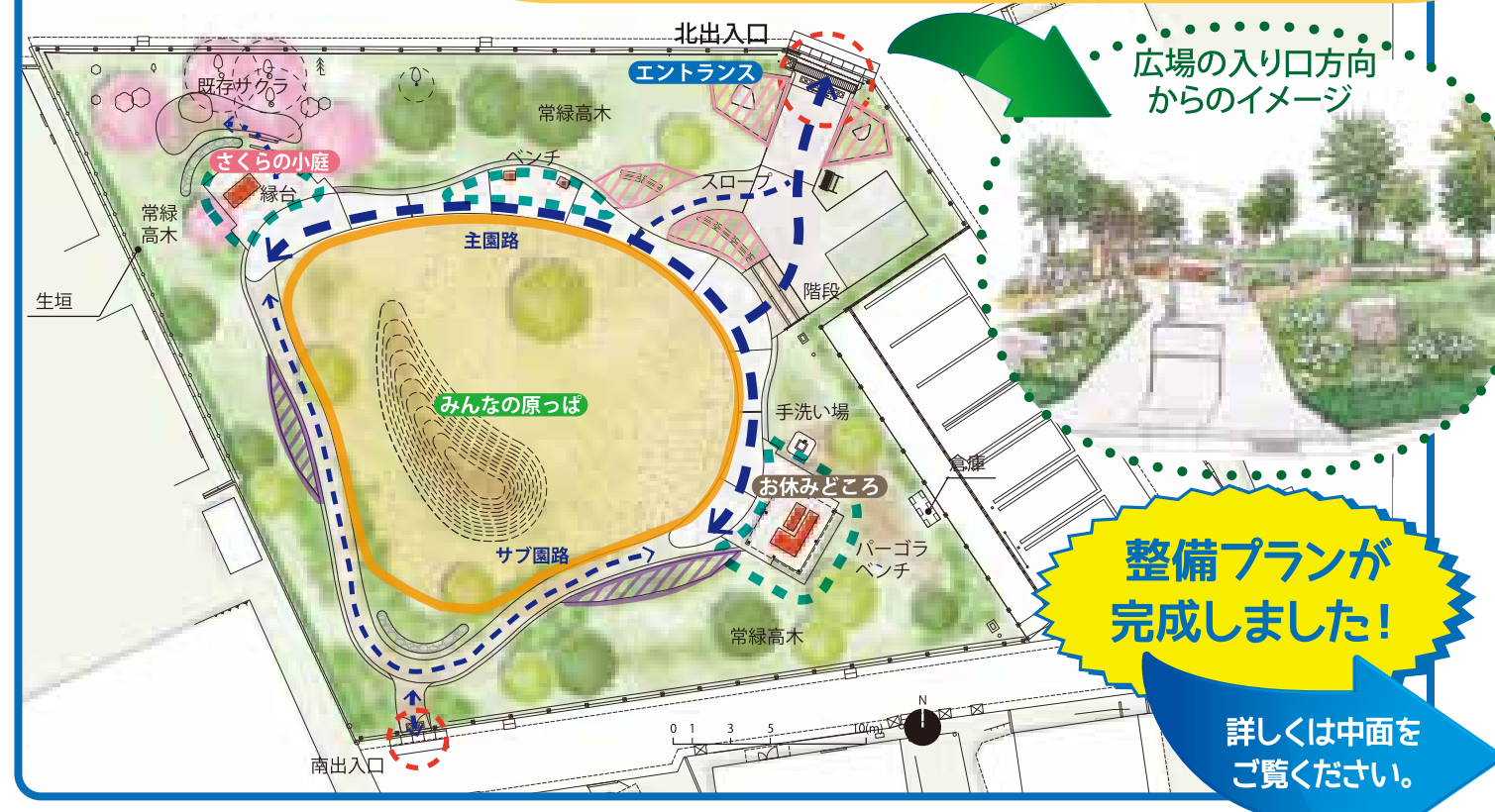
広場についての情報を発信中!



Instagram facebook LINE公式アカウント

北鳥山五丁目広場 ひろばづくり通信 第8号

令和7(2025)年3月発行



一緒に広場で花壇づくりをしませんか?

誰でも参加できます!
参加費無料
小雨決行
申し込み不要

広場の入り口には、地域のみなさんと育てる花壇エリアがあります。ガーデニングの基礎知識を学びながら、花壇のお手入れをしてみませんか? みんなで素敵なコミュニティガーデンをつくりましょう。



4月20日(日)10-12時
【プチ講座】植物の選び方
いつもキレイな花壇を作るコツ
【お手入れ】
・花がら摘み
・次月の植え替えの準備

5月18日(日)10-12時
【プチ講座】植物の植え付け方
植物を育てる水・土
【お手入れ】
・お花の植え替え
・お花(多年草)の移植

6月15日(日)10-12時
【プチ講座】植物の楽しみ方
切り戻した植物の活用方法
【お手入れ】
・お花(多年草)の移植
・草取り(選択的除草)

みんなでお花摘み



【活動イメージ】

持ち物/ガーデン手袋(あれば)、飲み物、帽子



北鳥山五丁目広場 整備プラン最終案

地域の皆さまの声やワークショップの意見を踏まえ、整備プランを作成しました。

広場づくりの方向性

- この場所らしさがあり、つくりこまない「のはら」
- 日常的な利用がしやすく快適で過ごしやすい環境
- さまざまな「やりたい」を実現する、おおらかな広場



開放時間

- ・整備後も現在と同様に夜間は閉鎖する予定ですが、開放時間を長くするように検討します。
※照明灯は設置しません。

広場の入り口方向からのイメージ

パーゴラベンチ

築山

花壇(予定)

- ・エントランス付近には花壇を設置して華やかな雰囲気を演出します。

エントランス・駐輪スペース

- ・既存の舗装部は、夏場の快適性を向上させるため遮熱塗装をします。

お休みどころ

- ・日陰でゆったり休憩できるようにパーゴラを設置します。
- ・パーゴラの下には、休憩や交流ができるベンチやテーブルを設けます。



さくらの小庭

- ・既存サクラに加えて、咲く時期が異なるサクラを新たに植樹することで、春に桜の花を楽しめるコーナーをつくります。

みんなの原っぱ

- ・広場の中央は、できる限り広く原っぱを確保し、地域の交流の場として利用できるようにします。
- ・原っぱ内は現状の雰囲気を残しつつ、子どもなどが楽しめるように築山を拡張します。
- ・シンボルとなる木を植栽して、夏場の日陰ともなるようにします。

- ・緊急時の避難や日常的な利便性のため出入口を新設します。